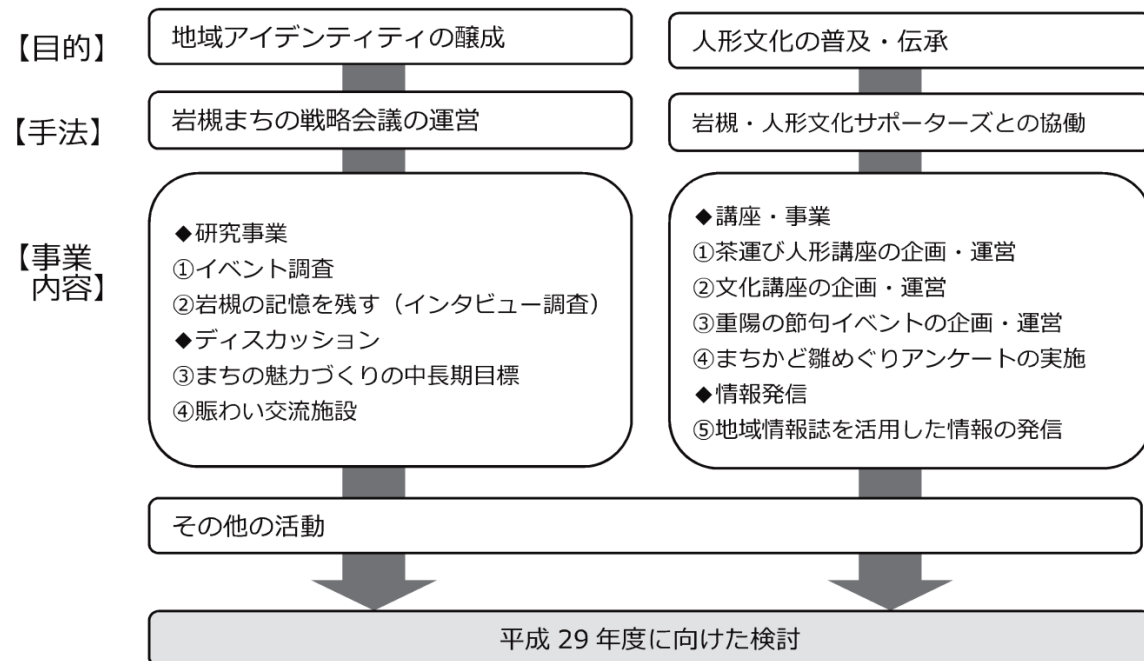


■地域連携業務

平成28年度の活動

岩槻まちの戦略会議（若手の商業者と人形組合員が意見を言う場）の運営による地域アイデンティティの醸成と、岩槻・人形文化サポーターズとの協働による人形文化の普及・伝承を目的として活動を行った。



1. 岩槻まちの戦略会議

(1) 平成28年度事業内容

岩槻まちの戦略会議では28年度のまとめとして、インタビュー調査及びイベント調査を通じて、「これからも守っていくべき“岩槻らしさ”や“岩槻のアイデンティティ”とは何か」についてディスカッションを行った。また、(仮称)岩槻人形博物館の開館、東京オリンピックの開催を見据え、「まちの魅力づくりには何が必要か」についてディスカッションを行った。

① テーマ

『岩槻らしさの再発見、そして岩槻の近未来』  
～人形博物館開館・オリンピック開催の2020年に向けて～

② 開催概要

日時：平成29年3月21日 18:30～20:30  
場所：岩槻駅東口コミュニティセンターワッツルームB  
参加者数：66名

※コーディネーター：新 雅史（東洋大学 社会学部助教）



ディスカッション風景

(2) 平成29年度事業内容

平成28年度の岩槻まちの戦略会議のディスカッションを踏まえて、平成29年度の事業として、以下の事業を検討する。

① 昔の町並み地図とまち歩きマップの作成

② 11月3日問題への対応とモニターツアーの実施

③ 岩槻祭+祭礼の企画

④ 山車・神輿の修復・活用に向けた準備



昔の町並み

2. NPO法人岩槻・人形文化サポーターズとの協働

(1) 平成28年度

人形文化の普及・伝承を目的として以下の活動を行った。また、NPO法人岩槻・人形文化サポーターズの早期自立化を図るため、自主事業の支援を行った。

① 茶運び人形講座の企画・運営

② 文化講座の企画・運営

H29.3.11 テーマ：菊細工と菊人形  
～江戸・明治の園芸化から～



②平野講師の講演



③重陽の節句イベント

③ 重陽の節句イベントの企画・運営

H28.9.22 内容「ミニ菊人形の製作体験」

④ まちかど雛めぐりアンケートの実施

⑤ 地域情報誌を活用した情報の発信

(2) 平成29年度

主な取り組み：五節句の定着

五節句をユネスコに登録する動きがある。人形と密接に関連している節句の行事について岩槻には実績があり、「五節句のまち岩槻」にするために、事業展開し、一層の実績を重ねていく。事業案は以下のとおりである。

① 人日（じんじつ）：1月7日 七草の節句

・クレセントモールで芋煮会のように七草粥をふるまう。七草粥を食べて出陣、神社めぐりと武者人形、人形組合の兜で記念写真などのストーリーづくり。

② 上巳（じょうし）：3月3日 桃の節句

・全国に70以上ある雛めぐりの中で岩槻が最も古い。

③ 端午（たんご）：5月5日 菖蒲の節句

・現状では人形店が主体。和菓子屋や料理屋とも関係が深い。  
・サポーターズでイベントを考えたい。(例：城址公園で流鏝馬)

④ 七夕（たなばた）：7月7日 笹の節句

・栄町通り商店街、一番街商店街、幼稚園や小学校で取り組んでいる。  
・幼稚園や小学校の竹飾りを借用して、駅前広場に飾る。(吊るし飾りも加える)

⑤ 重陽（ちょうよう）：9月9日 菊の節句

・岩槻では今回で3回目の開催。集客力が高まってきている。



端午の節句  
兜・陣羽織



端午の節句  
鯉のぼりくぐり